

バックオフィスに重点を置いた Web 画面

概要

GeneXus™

ここまでの実装した画面

The screenshot displays a web application interface for managing tourist spots. The main window shows a list of spots with columns for ID, Name, Country, City, Category, and Image. A modal window titled '観光名所' (Tourist Spot) is open, showing a form to edit a spot. The form includes fields for ID, Name, Country, City, Category, and a 'Save' button. A 'バックオフィス' (Back Office) label is overlaid on the modal. To the right, a 'カテゴリ別観光名所' (Tourist Spots by Category) window shows a list of spots grouped by category, with a '写真' (Photo) column.

観光名所番号	観光名所名	国番号	国名	都市番号	都市名	カテゴリ番号	カテゴリ名	観光名所写真	更新	削除
16	エッフェル塔	2	フランス	1	パリ	8	モニュメント			
17	サグラダ・ファミリア	9	スペイン	1	バルセロナ	8	モニュメント			
18	スミソニアン博物館	10	アメリカ	2	ワシントンD.C.					
20	ノートルダム大聖堂									
19	マティス美術館									
15	ルーブル美術館									
22	紫禁城									
21	万里の長城									

観光名所

観光名所番号: 0

観光名所名:

国番号: ☐

国名: イタリア

都市番号: ☐

都市名:

カテゴリ番号: ☐

カテゴリ名:

観光名所写真:

カテゴリ別観光名所

カテゴリ: ミュージアム

番号	名前	国	写真
15	ルーブル美術館	フランス	
18	スミソニアン博物館	アメリカ	
19	マティス美術館	フランス	

カテゴリ: 通称

番号	名前	国	写真
21	万里の長城	中国	
22	紫禁城	中国	

ここまでの説明で利用した Web アプリケーションは、すべてバックオフィスに重点を置いたものでした。

出来上がったアプリケーションの機能には、一覧表示の画面や、登録画面、PDF 出力の実装などがありました。

登録画面は、トランザクションオブジェクトにより自動生成されたものとなり、データを操作可能な画面であり、登録だけでなく、更新や削除も行えました。

一覧表示の画面は、トランザクションオブジェクトに Work With パターンを適用した結果、自動生成された画面となり、情報の表示だけでなく、表示されるデータの絞り込みやアクションを実装することも可能でした。

PDF 出力は、プロシージャオブジェクトを利用し、実装され、単純なデータベース参照だけでなく、絞り込みなども実装可能でした。

Web アプリケーションを完成させるためには、登録画面だけでは要件を満たすことが出来ません。

そのためのオブジェクトが GeneXus には、用意されています。

Web アプリケーションに必要な機能



ユーザーインターフェースを持つ画面は、アプリケーションのフロントエンドとして利用される視覚的なロジックを持ちます。

また、この画面に対し、バックエンドとして、データの読み込みや、データの操作を代表とするサーバーにアクセスするロジックを持ちます。

フロントエンドとバックエンドに切り分けた場合、このような区別が行えますが、GeneXus における画面を生成するオブジェクトでは、フロントエンド、バックエンド双方のロジックを内包することができます。

そのため、GeneXus による開発を開始した際に、生成するアプリケーションの種類を決定後、フロントエンド、バックエンドを考慮する必要がありません。

*GeneXus*TM